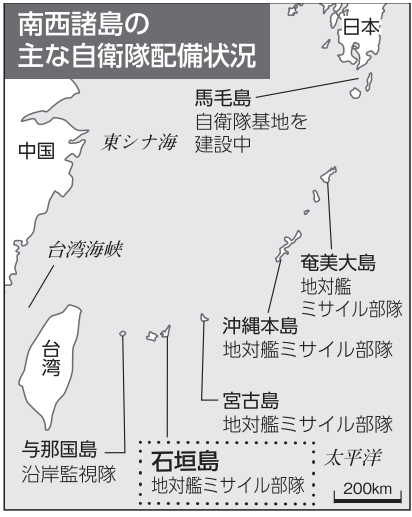


私のまちですすむ

大軍拡

沖縄・石垣島

準備が進んでいます。...



南西諸島の主な自衛隊配備状況...

〈新連載・月1回〉

2023年3月16日、戦後78年間基地の...

避難なんてできない！ミサイルより外交を

一方、石垣島や与那国島、宮古島の住民...

旅館で避難するという計画ですが、ウクライナやガザを見れば...

〈月1回〉



知っておきたい

食事情

シジミには肝機能を高める働きのあるロイシン...

日本に生息するシジミは3種ですが、漁獲されるシジミの99%がヤマトシジミ...

日本のシジミ漁獲量は1960~70年代には5万トンもありましたが、80年代から急激に減少し...

持続可能なシジミ生産のため、生息地の保全を

域の干拓で生息場が失われた結果です。かつては、利根川や霞ヶ浦、長良川、八郎潟も一大生産地でしたが...

汽水域は生物生産性が高く、環境保全がされていればシジミも毎年多量に発生します。シジミ漁は典型的な小規模漁業で...



栄養価が高いシジミ (筆者撮影)

いま国会では



国会前水曜日行動にかけた女性たち (6月11日)

6月10日におこなわれた衆議院法務委員会の選択的夫婦別姓等3法案審議での参考人質疑より、文政大学教授(家族心理学)の布柴靖枝さんの発言(要旨)を紹介します。

■家族の一体感

「氏」の一致で規定されない

今まで女性が我慢を強いられてきた家族観の上に成り立った法制度は、人権の観点からも改正すべきだと考えています。...

■アイデンティティーは大きな問題

「アイデンティティー(自己同一性)なんてそこまで問題か」と疑問視する声もありますが、心理学の立場では、これは非常に深刻な問題です。...

選択的夫婦別姓の法案 審議・参考人質疑より

人権の視点からも必要な法改正

維新の会などが提案する「通称使用の拡大」では、不利益の根本解決にはなりません。通称名はあくまで「仮の名」であり、戸籍に記載されてこそ、法的・心理的な一貫性が認められたと感じられるのです。...

■自分で選ぶ幸せ

心理学でも、「選択できること」は幸福感を高めるとされています。自分で選んだことには責任が持て、困難を乗り越える力になります。与えられた幸せよりも自分が選んで獲得した幸せの方がより人の心を幸せにする、これは私自身、長年のカウンセリング経験から感じることです。...

「アイデンティティー(自己同一性)に苦しむ人が少なくありません。子どもは親が幸せに暮らしているのかどうかを非常によく見ています。親が自信をもって働き、生きる姿を見せることが、子どもの人権を守ることにつながります。選択的夫婦別姓を選ぶ家庭では、なぜわが家は別姓なのかを子どもの成長に際して丁寧に説明することが重要で、そのような対話を通じてこそ家族としての絆やアイデンティティーは深まります。姓の一致・不一致は本質的な問題ではありません。...